

9/9(金)

## 【分科会 18】精神保健医療福祉システムとリカバリー

### ～私たちはこんな精神保健医療福祉システムを望んでいる～

**ファシリテーター:**伊藤順一郎 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所/NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ)  
福井里江 (東京学芸大学)

このワークショップは、そこに参加する人々一人ひとりが、どのような精神保健医療福祉サービスであつたら利用しても良いと思うか、自分としては変革のために何をしていきたいか、などを語り合う場として企画いたしました。

方法は、「ワールドカフェ」という方法に基づいて行いました。これは、「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法です。

今年度のテーマは、「サービスを使う人たちが、人生に希望がもてるには、どんなサービスの仕組みや関係があると良いでしょうか？」というもの。

「医療」「生活支援」「就労支援」「住まい」と4つのテーマに分けたテーブルを用意し、4人一組の小さなグループで話し合っていました。

その後、アイデアの他花受粉のために、他のグループのメンバーとの話し合いに。

3ラウンド目には元のグループにもどって、気づきや発見を統合する話し合いをしました。

そして、模造紙に描いた図や言葉をみんなで眺め合い、さいごに「実現のために私ができること」を書き、お互いの考えを共有しました。

様々な立場、考えの人々が集うことで、深まりのある話し合いの場ができたかと思います。

《伊藤順一郎 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所/NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ)》